

令和7年度第2回白井市立図書館協議会（概要）

- 1 開催日時 令和7年11月27日（木）15：00～17：00
- 2 開催場所 白井市文化センター2階 研修室2
- 3 出席者
 委員 吉弘会長、須田委員、森岡委員、山口委員、中島委員、村尾委員
 事務局 高花文化センター長、藤田館長、高嶋主査（係長）、寺嶋司書、佐山主査
- 4 傍聴者 1名
- 5 報告事項
 (1) 図書館システムの更新に係る休館について
 (2) 白井市文化センター大規模改修に関する市民アンケート調査結果について
- 6 議 題
 (1) 白井市文化センター大規模改修基本計画策定方針（案）について
 (2) 文化センター各館機能における検討項目について
- 7 その他
 次回開催予定について
- 8 配布資料
 (1) 会議次第
 (2) 会議資料
- 9 議 事 以下のとおり

会長	お集まりいただきまして、どうもありがとうございます。 2 回目の協議会を開催させていただきたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いしたい。
事務局	報告事項 （1）図書館システムの更新に係る休館について
会長	1月15日から3月3日までの予定ということだが、受験生にとっては追い込みの時期で、図書館が使えないとなると困るのではないか。代替措置のようなものを用意しているのか。
事務局	1月15日からというのは、機械のセッティング作業のために研修室を使用するため、図書館が休館するのは、2月23日から3月3日までの9日間ということになる。研修室は行事等がないときに学習室として開放している。
会長	特に受験生にとっての不具合は今までのことからいくと生じないという理解でいいのか。受験シーズンの時期なので、何かケアのようなものがあるのか。別に用意はしないのか。

事務局	特にする予定はない。図書館が開館しているときはそちらをお使いくださいというふうにご案内する予定である。
会長	承知した。
委員	カフェがあったスペースの利用はできないのか。
事務局	学習用としては使う予定はない。
委員	スペースの管理という問題もあるかもしれないが、何らかの形で使えるか使えないかの検討はしないのか。
センター長	現在、喫茶室としての募集をしていること、手すりの高さが建築基準法は満たしているが 130 センチしかないため、子どもが足をかけて登り転落する事故が懸念される。そのため、管理者がいない状態でフリーに入室は非常に厳しいと捉えているため、現状としては喫茶室としての募集を継続していて、一般への開放は予定していない。
委員	図書館システムを確認していたところ、オーディオブックの配信がシステム的には可能だということがシステム業者のサイトに書いてあった。 今回このオーディオブックというのはシステム的には利用される予定なのか。
事務局	オーディオブックについては、今回は入る予定はない。 また次の段階で、ということは考えている。
委員	図書館システムの更新とはどういう内容なのか。
事務局	図書館システムの更新は時代のニーズに合わせた市民サービスの向上や古くなった機器の入れ替え等を目的に、5 年に 1 度行っている。具体的な内容については配布した資料のとおりだが、新たなサービスとして、マイナンバーカードの連携を予定しており、こちらの導入が一番のポイントになっている。
委員	図書館システムの更新というのは図書館のみか、他のセンター図書室も行うのか。
事務局	システム更新は図書館とセンター図書室を合わせて実施する。
委員	広報しろいや LINE なども含めて周知されるということだが、せっかく来たのに使えないのかとか言う人もいないとも限らないので、早めに周知してもらいたい。

事務局	広報しろい 1 月号には掲載を依頼済み、ホームページとポスターでの周知は既に行っている。
会長	今回のシステム業者は何か特徴はあるのか。
事務局	開館当初から同じシステム業者となっている。
事務局	報告事項 (2) 白井市文化センター大規模改修に関する市民アンケート調査結果について
会長	このアンケート結果は、この後の改修計画に活かされていくという理解でよいか。
事務局	アンケート結果をもとに議題 (2) を進めていく。
委員	この図書館の現在のスペースはそのままということで、何をどう変えていくか。 例えば、図書館の一部に郷土資料館を含めるなども視野に入るか。
事務局	スペースについてと、他館との連携についての 2 点について回答する。 まずスペースについては、今のスペースが必ず確保されるかは未定であり、4 館の運営協議会と意見交換し、大規模改修後の文化センターの機能と併せて検討する。次に、他館との連携については、アンケートや直接市民から聞いた意見で、文化センターに来て 3 階にある郷土資料館やプラネタリウム館が何をやっているかわからない。何をやっているかぐらいはわかるようにしてもいいのではないか、という意見があった。 この後の議題で説明するが、事務局案でデジタルサイネージ（電子広告）の設置し、各館のイベント情報等を把握できるような仕組みを取り入れるということを検討している。
委員	資料の最終ページの共有部分、空きスペースの活用方向で、レストラン、カフェが多い。保健福祉センター 1 階にも飲食できるスペースがあるが、今回、保健福祉センターや総合公園などは改修の検討に入っていないという理解でよいか。
事務局	検討範囲については文化センターの敷地内であり、保健福祉センターやその他の施設は対象外となっている。
委員	カフェの希望がこの文化センターで多ければ併設というか、競合するような形で設置も検討するということか。

事務局	アンケートではカフェとか休憩スペース、飲食物の販売所の意見が多い結果だった。また、その他に市民から直接意見も聞いている。それらを踏まえ、事務局では、言葉通りカフェが欲しいということだけではなく、休憩できる場所が欲しいという意味合いも含めて、今の文化センターにない飲食可能な休憩スペースの機能が望まれていると捉えている。 今後予定しているサウンディング型市場調査で、民間事業者からも意見を聞き検討する。
委員	都内の図書館を利用したところ、それぞれ地域性に応じ、誰がユーザーかということ考えた上でいろいろなサービスが提供されていた。文化センターの図書館のスペースも、ユーザーを定めメリハリを付けることなどができるといいと思う。
事務局	ご意見のとおり、メリハリとかターゲットの明確化というのは大変重要なことと思っている。市では白井市第6次総合計画の策定を進めているが、若い世代やファミリー層の定住の促進というのと、人生100年時代の福祉の促進というような2つの側面を盛り込んだ計画となっている。その中で文化センターの改修はどのように計画していくかというところであるが、利用者を想定して使い方を考えるというのは、アンケートの中でも意見があったので、取り入れながら検討していく。
委員	今回の図書館システムの更新ということで、今回はマイナンバーに特化するという話があったが、こういうサービスが住民の方から出てきてそれを採用することになると、次の更新の時期まで待たなければいけないのか。 ハード面とソフト面に分けてと考えると、ハード面では先ほどのスペースの問題もあったが、図書館の利便性のソフトウェアというあたりをもう少し突っ込んで検討してみる価値があるのではないか。
館長	5年ごとに電算システムの更新があるが、先ほどでたオーディオブックについては、次期システムの中でオプションではできるようになっている。それはいろいろ取捨選択して、どれができるか予算もあるので、その中で検討していくことになる。年度途中でも予算が許せば、導入できるものもある。必ずしも新しいサービスを行うのに電算システムの更新が必要かということとそればかりではないので、その時にできるものを検討してやっていくという形になると思う。
委員	自動貸出機でタグの話があったが、今、図書館の本はバーコードだけで電子タグが貼られてないが、それを導入するとすると、全ての図書に電子タグを付けないといけないという作業なると思うが、今回それは検討されていないという理解で

	よいか。
館長	改修は何年か後なので、IC タグについても考えていこうと思っている。蔵書全部を同時にやるのが無理な場合、例えば開架だけとか参考資料だけという考え方もできる。また日進月歩で新しい AI 的なものは進行していくと思うので、その中で取り入れられるものがあるかもしれない。そのところはアンテナを高くして検討していきたい。
委員	レファレンスのコーナーで、職員がレファレンスのサービスを提供しているが、そのレファレンスのサービスあたりは生成 AI で、ユーザーのリテラシーを上げていくような、レファレンスサービスの拡充みたいな形になるのではないかな。人件費の問題が出てくるので、人件費とシステムの導入、例えば教育というかトレーニングでカバーができるようなら効果を考えて、ユーザーの満足感を上げていくという事ができるのではないかな。
事務局	議題 (1) 白井市文化センター大規模改修基本計画策定方針（案）について
会長	来年の 5 月 6 月で基本計画の大枠を決めると理解しているが、今の話は基礎的なものと理解している。タイムスケジュールは大丈夫か。
事務局	ご意見のとおり、来年の 6 月までの委託期間中にパブリックコメントなども実施して内容を固めていく。状況としてはプロポーザルで業者が決まったのが 6 月、それからアンケートや建物の劣化状況の調査なども行い、併せて今回協議会との意見交換を実施していく。スケジュールはタイトだがご協力願う。
会長	この会議でもう 1 回意見を述べる機会があるということか。
事務局	次回は 2 月 26 日 3 時から予定している。今回、各館の協議会に意見を聞いた後、基本計画のパブリックコメントをやる前の案という形でまとめていく。その途中の段階で再度意見を聞いて修正し、パブリックコメントを実施する。
会長	図書館協議会の他に郷土資料館、プラネタリウム館などにも意見聴取できる協議会はあるか。あるとすれば、各意見をまとめるのはどのタイミングか。
事務局	まずこの図書館協議会と同様にそれぞれ文化会館運営協議会、郷土資料館運営協議会、プラネタリウム館運営協議会がある。そこで今回と同様の議題を取り扱う。各館の運営協議会が 12 月 16 日に終わるので、事務局で各館での意見を集約し計

	画の策定を進めていく。 次回の図書館協議会では、策定の途中経過の段階で再度意見を聞き、計画の参考にする。
委員	アンケートだが、40代が多いが30代が少なく残念だと思った。いろいろご意見文言がある中で、私はこれに集約できていると思っている。「図書館、郷土資料館、プラネタリウム館は縮小の案が出ているが、あまりに縮小となってしまった場合は、利用回数が減ってしまうだろうなと思う」本当にいい施設なので、さらに発展できるように大枠が決まることを期待している。
委員	白井市に住んで40年近くになるが、文化センターができて、子どもたちの合唱コンクールとかピアノ発表会とか、それから図書館もお話会をやる上でとても助けになったし、知的好奇心が満たされる。プラネタリウムも大好きで何度も行った。そういうものがある街で子どもを育てられたというのはすごく誇りである。 たくさんの意見の中にこれを縮小しないでほしいという意見がいっぱいあった。文化会館のホールの響き、スタインウェイのピアノも本当に素晴らしいので、あれは本当に宝だと思っている。 今までたくさんの会議の中で、文化会館大ホールが存続とする。図書館も存続とする。ただし規模は縮小とあるが、これは決定事項か。 アンケートでたくさん現状維持してほしいという意見があって、それをこれから身の丈にあった改修は必要と思うが、極力考慮していただけるという理解でよいのか。
事務局	方針は決定しているものなので、変更する考えはない。ただし、今後も、市民の意見を参考に進めることとしている。協議会意見やアンケート、パブリックコメントを参考に検討していく。
委員	6. 施設整備の設計条件の(4) 広域施設連携の考え方について、駅前及び隣接開発区域の連携とあるが、図書館の場合は、各センターに5つの図書室がある。この5つの図書室を含めて検討されているかどうか伺いたい。
事務局	ここでは他部署が取り組んでいる駅周辺地域活性化事業や近隣での民間開発など広い視点での連携について考え方を示していきたいと思っている。 図書館については、各センター図書室とどういうふうに連携をしていくかということ、今後検討する。 その他の広域連携としてはアンケートでも改善してほしい点として上がっている。交通アクセスの面や飲食なども含めて、この文化センターで解決できないことはもう少し広い視点で、というところで考えを整理していきたいと考えている。

委員	大規模改修の進め方として協議会の意見で決めていくほかに、逆の発想として白井市という街の方向性を示し、その方向性に基づいてトップダウン的に検討する方法もあると思う。市ではこのような上位計画の視点から改修内容に落とし込むような検討はあるか。
事務局	市では総合計画や都市マスタープランの方で今後 10 年間の市政の方向性を示しているが、これらの計画から文化センターに求める機能までは落とし込まれていない。事業としてはボトムアップ式で進んでいる。
委員	別の市で市民に施設の愛称を募集した事例がある。施設概要を告知した上で、愛称を募集すると親しまれたり興味を持たれたりするのではないか。 また、白井駅前と西白井駅前に特化してしまってもまずいかもしいが、その利便性を上げて利用者数、利用者層を広げていくというのもよいと思う。
事務局	愛称の募集については公共施設マネジメント課の方で、ネーミングライツの募集を進めていく方針があり、文化センターもその対象に入っている。
センター長	先ほどの質問の中で、庭が検討範囲かどうかという質問が出たが、あり方検討委員会の時も前庭は結構利用されているが中庭の方の利用が少ないとか、いろいろご意見があった。現在の文化センターの 4 館というのはある程度目的を持った方が来館していると思うが、改修後、共用部分についてはフラッと来られるような、そういった点も検討していければと考えている。
事務局	議題 (2) 文化センター各館機能における検討項目について
委員	2 ページ目の 3 の施設全体の研修室、学習室スペースに含むについてというところで、Wi-Fi の検討などとあるが、資料の内容で確定なのか。
事務局	確定しているものはない。整備を検討する項目を洗い出し、民間事業者から参考意見を聴取するとともに、市の財政状況等を踏まえて何を整備するか決定していきたいと考えている。
委員	1 階図書館トイレの改善は実施してほしい。また、アンケートの中に図書館の入り口がわからないなどの意見もあったので、改修するときに可能なら図書館の入り口をわかりやすく、ちょっと広めにしていきたい。

事務局	図書館入り口の改善や全館的な案内表示の改善というようなところで検討したい。
会長	たしかに図書館の入り口は狭いという印象がある。
館長	利用者側の目線でいっていただけてありがたい。中で働いていると気が付かないこともある。初めて来る利用者にとっては、今の図書館の入り口は狭くてわかりづらいかもしれない。もし改善できるのであれば改善はしたいが、一緒に検討していきたいと思う。
会長	ぜひ検討していただきたい。
委員	レイアウト変更に伴う蔵書数見直しと配架・閲覧スペース再編の検討はどう進めていくか。入り口が狭いことは自動貸出する場合、セキュリティ上いいと思っている。具体的にどういう形でレイアウトが決まっていくか。
事務局	検討段階なので、イメージとして捉えていただきたいが、例えば他館では館内で会話可能なスペースと静かにするスペースをそれぞれ設けているところが増えていく。また、会話できるスペースには、図書館ではあるが子どもの遊び場を作っている事例もある。 当館では既存の建物のスペースで考えていくところだが、例えば入り口に近い方は会話が出来たり児童コーナーとして子どもが遊べたりし、奥に行くにつれてだんだん静かにしてくださいというように区切っていくなどが考えられる。 また、アンケートでは車椅子の人でも通れるような通路幅を確保してほしいなどの意見もあったので、バリアフリーも考慮しレイアウトの検討を進めていきたいと考えている。
委員	東京都中央区の図書館ではパソコン可やスマホは可だけれど会話はダメというスペースもあり、機器の充電ができるとか利便性の高いスペースもあれば、静かに読書する、勉強するというようなスペースもあった。そういう他館の事例を参考に検討していただきたい。
事務局	他館については昨年この協議会で、佐倉市と富里市を視察した。今年は大規模改修準備室として、神奈川県大和市のシリウスと東京都武蔵野市の武蔵野プレイスを視察した。その他の施設も情報を集め検討する。
委員	学習室で使われている部屋で朗読会をしている。準備の際にいつも机を全部撤去するなどしているが、小さなイベントなどの時に借りられる部屋があると良いと

	思う。和室は文化祭の時お茶の団体が使用したり、講演会等の控室として使用されたりしているくらいしか認識がない。何か他に使えないかと思っている。
事務局	まず朗読についてスペースを検討する。面積などの希望はあるか。
委員	学習室程度の面積があるとよい。
事務局	中ホールとか大ホールほどではないフリースペースとして検討する。和室について、お茶としての貸出は文化祭の時ぐらいしかない。他の協議会からの意見も参考に和室の必要性なども含めて検討する。
館長	研修室は図書館の管理に今はなっているが、これからは共有スペースの中で考えていこうという構想がある。無駄のないように利用できる場所を共有しながら、壁を作らないでやっていけたらよい。そこも検討しながらやっていきたいと思う。
委員	市役所の東庁舎にある会議室の利用規定とどう違うのか。
館長	現在の研修室に関しては市役所の会議室の利用規定とは異なっている。通常は学習室として開放している。
委員	今後は共有スペースということで、図書館の管理から外れて全体的な中のスペース管理になるということになった場合、市役所側の利用規定は分からないが、向こうの部屋は簡単に借りられないのか。
館長	学習室以外では市内で活動している読書会や朗読の団体に貸し出している。また、市役所主体の行事等で貸し出す場合もある。（文化祭など） 市役所の会議室とは違うので、実際にそうなったときにはまた検討することになると思う。
事務局	市役所の東庁舎 1 階の多目的スペースは、しろい市民まちづくりサポートセンター（まちサポ）の登録団体が使える。その他、駅前センターや西白井複合センターなどもそれぞれの館で団体登録をしているところが利用できる。 文化センターは文化会館以外の館は貸出施設ではないため、その部屋を管理している各館の利用規定で利用している。貸出可能なスペースを設ける場合は貸出ルールも併せて検討になる。
会長	1 各館機能の検討事項についてにあるサウンディング型市場調査とは、既に始まっているのか。

事務員	サウンディング型市場調査はまだやっていない。来年 1 月ぐらいの実施を予定している。
会長	何社ぐらいに聞くのか
事務局	公募での実施を予定している。
会長	2 図書館について、レイアウト変更に伴う蔵書数見直しと配架・閲覧スペース再編の検討とあるが、蔵書数の見直しというのは減もあり得るということか。
館長	あり方の方針では縮小となっているが、図書館の中で何かのスペースを広げる、作るといった場合は蔵書数をもしかしたら減らさなければいけないところもあるかもしれない。バリアフリーや配置を変えたときに、今までの蔵書を置けるスペースがどうなるかなど、これからの検討事項である。
会長	蔵書数の減はレイアウト由来ではなく、維持するためのレイアウトという考えもあるのではないか。
事務局	例えばバリアフリーとして本棚間の幅を広げると、全体の広さは決まっているので必然的に置ける棚の数が減ってくると思う。そういう意味では開架の本は減る可能性があると思う。ただし、電子書籍を導入するとか、インターネットを活用して予約しやすくするとか、代替手段も併せて検討することが考えられる。
会長	ぜひ、前向きにご検討いただきたい。
委員	桜台のセンターの使い勝手があまり良くないと聞いたことがある。例えば、蔵書数の問題の時に、印西市と船橋市と 3 市ぐらいで提携して、蔵書数をお互いに維持していくといった利用の形態というのは可能なのか。
館長	県内では県立の車が巡回していて、自館にない資料を他館から借りるという相互協力サービスは開館当初から行っている。県内の蔵書は県の横断検索で検索できるので、本の除籍をする際は残すかどうかの参考としている。それぞれの図書館で考慮しているので、そういった相互協力というのはできていると思う。
委員	船橋や印西の市民は、白井市に来て貸し出しは可能なのか。
館長	隣接している市は利用カードを作ることができるが、予約・リクエストは受けて

	いない。白井市民も隣接図書館を利用している。
会長	以前、相互協力で資料を取り寄せてもらったことがあり、とても嬉しかった。そういう充実もあるかもしれない。
委員	次回の協議会のときにはある程度決まっていると思うが、このアンケートでは市内には書店がないとか、白井市は千葉県内で本屋がない３市に入っているとか、そういう寂しいものもある。白井は高齢化も進んでいる中で子育て世代も転入しており、６万人は維持していくという市である。健康文化都市宣言もあるのであれば、蔵書数は減らさないでほしいと切に願う。
委員	議題１の５管理・運営の考え方だが、市と民間の事業者と役割分担の考え方とあるが、民間に事業を運営委託するという可能性はあるか。
事務局	可能性はある。運営方法も基本計画の検討項目となっている。運営方法は、市役所の組織や人事にも関わることなので、まずは市で方針を検討してから、基本計画案に盛り込みパブリックコメントを通して市民から意見を聞きたいと考えている。
委員	駅前センター、小学校で行われている放課後子ども教室、学童保育所など民間委託されているが、図書館も可能性としてはあるということなのか。
事務局	市には事業のアウトソーシング化を進めていく方針があり、文化センターについても大規模改修の機会に検討することになっている。現在、検討中である。
会長	まだ不明と理解した。次の会議にはもう少し具体化された案というか、設計図みたいなものが提示されるのか。
事務局	基本計画では図面の作成までは予定していない。ただし、何でもかんでも詰め込むということではなくて、既存の建物で可能な範囲を意識して機能は考えていく。基本計画ではこういう機能があるのが望ましい、というような形で示していく予定である。
委員	市役所が改修されたときは、階数が減らされて外側はきれいになって、防災というか耐震を強化したというように理解している。文化センターでは、どこまでの改修というイメージで持っておけばよいか。
事務局	まずはこの建物が安全に使えるということが第一と考えている。

	市役所で階高が減ったのは建築基準法が古い基準のときに建てられたもので、現行基準の耐震性に合わせるために、階数を減らして建物自体を軽くして耐震性能を高めるという方法を取った。 文化センターについては建築基準法の耐震基準は満たしている建物になるので、市役所が行った減築というのは予定していない。改修内容については、大ホール天井の改善や、建物全体の防水、外壁タイルの補修など、建物の維持に必要な物は実施する。その他については、費用面を含めた検討を予定している。
委員	基本は防災・耐震を考えた上で、レイアウトとかの変更がメインになるという理解でよろしいか。
事務局	そのとおりである。
委員	共有部分で話が違うが、防災機能というか、災害が発生したときに、市民の方が文化センターで過ごされるということはあるのか。
事務局	文化センターは災害対応の方針では、物資集積所や災害対策本部の第三順位の設置場所に位置付けられている。災害が起きた際は、支援物資の保管や自衛隊等の協力者の集合場所に使われる。
事務局	4 その他 次回の協議会は令和 8 年 2 月 26 日午後 3 時から、中ホール（かおりホール）で開催する。
会長	議題全て終了いたしましたので、本日はこれにて閉会とさせていただきます。 ご協力ありがとうございました。